

2010年1月1日～2021年4月30日の間に 当科において筋肉内血腫の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「非外傷性筋肉内血腫における臨床的特徴の調査」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 救急医学 臨床助教 立石寛子

研究分担者 川崎医科大学 救急医学 特任教授 椎野泰和
川崎医科大学 救急医学 准教授 井上貴博
川崎医科大学 救急医学 准教授 宮本聡美
川崎医科大学 救急医学 講師 高橋治郎
川崎医科大学 救急医学 講師 山田祥子
川崎医科大学 救急医学 臨床助教 上野太輔
川崎医科大学 救急医学 臨床助教 稲吉祐樹
川崎医科大学 救急医学 臨床助教 岡根堯弘

1. 研究の概要

筋肉内血腫は比較的稀な疾患であり、非外傷性のものは原因不明のことが多いです。既存の症例報告では、全身状態の悪化につながるものや、他疾患との鑑別が困難なものもあります。そのため、有用な検査や所見、治療法を検討し、専門の診療科以外でも鑑別診断の一つとして本疾患を挙げられるよう、本疾患の臨床的特徴を調査し、明らかにすることが目的です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2010年1月1日～2021年4月30日の間に川崎医科大学附属病院救急科において筋肉内血腫の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

2010年1月1日～2021年4月30日の間に川崎医科大学附属病院救急科において筋肉内血腫の治療を受けた患者さんについて、研究者が診療情報をもとに様々なデータを選び、誘因や臨床症状に関する分析を行い、臨床的特徴について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：性別、年齢、基礎疾患、薬剤歴、血液検査(CBC、凝固系、生化学)・画像検査、血腫に対する治療

内容、現病歴、入院時現症、転帰等

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学救急医学教室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学 救急医学

氏名：立石 寛子

電話：086-462-1111 内線 44268

ファックス：086-463-1111

E-mail：h.tateishi@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。